

佐賀ジュニアスキーチーム（入会案内）

1. 目的

スキー競技を通して、心身ともに健康で調和のとれた、青少年の育成を図るとともに、スキー技術のレベルアップ、アスリートとの交流を深めることを目的としています。

(1) ジュニアスキーの技術向上、体力のレベルアップを図る。

- ・生涯スポーツの志向のもと、年齢や個々の能力に応じ、体力や技術を維持し、継続していくことが望ましく、自己の目標に向かいステップアップができることが望まれます。
スキーは、変化ある自然条件の中で、技術のバリエーションを駆使するという特性を持っているためその願いが叶います。
- ・気象の移ろい、雪や斜面の変化に応じて、安全な滑降やスピードへの興奮、緊張を体感し、達成感、喜びを味わうことができます。
- ・技術の難しさをクリアし、スピードへの挑戦という面白さ楽しさを味わえるスキーに取り組むことで、進んで努力しようという自主性に結びつき、日常の社会生活の充実や波及効果も期待できます。
- ・練習や大会への参加を通して、忍耐力、ルールを守る規範意識、周囲の人との協調性や責任感も培うこととなります。

(2) 県の内外を問わず、多くの競技者と交流し、豊かな人間性を培うことをねらう。

- ・競技会に参加することで、広範囲の様々な人間と知り合うことができます。そこでの礼儀、マナーや感謝の心が自ずと育まれます。
- ・雪のある地方を訪ね、宿泊を伴うことになり、同じスポーツをする者への仲間意識や憧れを抱きやすい環境にあり、向上心の原動力や社会性を磨く機会となっています。
- ・様々な職業や異年齢の人々とのふれあいで、学ぶものが大きく、少年社会体育の域を越えた人間性の育成が期待できます。
- ・自然を相手にしたスポーツだけに、自然の美しさや厳しさを体感し、自然への感謝やその中で生きていく喜びを味わうことができます。

(3) 心身ともにバランスのとれた健康な姿をめざす。

- ・競技技術の向上をめざし、目標を掲げて大会に臨むことで心身の鍛練に繋がります。
- ・競技には勝ち負けがつきまとい、こだわりや優越感、劣等感を抱くこともあります。そこで、周りへの気遣いや自分の思いを貫くことも大切です。
- ・生身の体でスピードを追求する中で、怪我や故障を伴うこともあり得ます。そこで、耐えたり、備え避けたりしていく心の育成にもなります。
- ・日常生活、学校生活、学習との両立を前提とし、自分の目的をもち、スキーができる環境や、親、指導者への感謝の気持ちや自覚を促す指導をしています。

2. 大会や練習について

(1) 大会について

- 1月 上旬 県民体育大会（国体予選会、全国中学生スキー大会予選会、インターハイ予選会）（天山）
下旬 佐賀県スキー競技会（個人・クラブ対抗）（天山）
〃 全九州小学生アルペンスキー大会（九重）
- 2月 上旬 全国中学校スキー大会
〃 インターハイ
中旬 国民体育大会（全国各地）
- 3月 初旬 全九州アルペンスキー大会（九重）
※ 上記大会のほか、希望者はB級大会、チルドレン大会などに参加出来ます。

(2) 強化合宿、強化練習

- 1 2月 下旬 強化合宿（北海道ニセコモイワスキー場）
- 1月 中旬 強化合宿（鳥取県大山スキー場）
- 3月 下旬 強化合宿（北海道ニセコモイワスキー場）

※ 上記以外にも、夏季・冬季休業中や連休を利用し、指導者の引率で指導・練習を行います。

(3) 早朝練習

- ・ 1 1月下旬から2月下旬までの週末および祝日に、天山スキー場のオープン前に2時間程度の練習をしています。（ビブを必ず着用のこと）

※ 佐賀県スキー連盟登録者、ジュニアの強化練習のための特別待遇を受けています。（Jr は無料）

各大会申し込み等について

- ・それぞれの大会ごとに、参加希望者は事務担当者に各自その旨 申告すること。
- ・申し込みの期日がかかなり早いので、締め切り5日前までには申し込むこと。
- ・参加料申込みにあたっては、参加費（現金）を添えて申し込むこと。（振込みでも可）
- ・引率が未定の大会もありますが、参加申込みがあった場合、可能な限り指導者が引率します。

3. 費用について

- ・用具（スキー式）・靴・ウェアは、個人負担が原則です。
用具は先輩からのお譲りを受けることができる場合も有ります。
- ・強化合宿、大会参加の旅費、宿泊代、食費、リフト代など、個人負担が原則です。
スキー連盟から、強化費等で一部補助もあります。
- ・大会参加費も 個人負担が原則です。
- ・佐賀ジュニアスキーチームのクラブ年会費は、3,500円です。（SAJ会員登録費を含む）
- ・傷害保険は、別途 各個人で加入してください。
※クラブ単位での一括加入もできます。（SAJ保険）

4. 傷害保険加入、登録費について

- ①ジュニアクラブ員は、(公財)全日本スキー連盟、佐賀県スキー連盟に登録します。
 - ②スキーヤーとして・競技者として、保険の加入は必須です。 ※未加入の場合 大会に参加できません。
 - ・自分のケガ、道具の破損はもちろんですが、一番重要なのは、他の人に怪我をさせたりした場合の「賠償」責任です。
 - ・合宿や大会参加の万一の交通事故等にも対応しています。
- ※一般の保険と同様、契約内容（掛け金）により補償内容が異なります。

5. その他、約束ごと

- ①スキーはお金がかかるので、普段の生活でも節約に心掛ける。また、親への感謝をわすれない。
- ②学生の本分である勉強をしっかりする。
- ③スキー道具の手入れを常に心掛ける。
- ④オフシーズンや家でも、ランニングやストレッチなど基礎体力強化に努める。

6. 指導者

佐賀県スキー連盟 競技本部

本部長 馬渡敏明（佐賀市）

理事 松尾正道（伊万里市）、理事 本山道夫（武雄市）、理事 田中聖二（佐賀市）

7. 事務局（加入連絡先）

田中 聖二 〒840-0861 佐賀市嘉瀬町中原387-5

TEL:080-3963-7443 E-mail: s-tanaka@mx7.tiki.ne.jp